

【施設整備方針】

<p>テーマ：</p> <p style="text-align: center;"><b>将来の小美玉市を託す 児童生徒を健やかに育む 義務教育学校</b></p> <p>テーマ実現のために3つの整備方針を定め、 計画の指針とします。</p> <p><b>= 1 =</b></p> <p><b>自然や地域に支えられ、児童生徒が安全に健やかに育つ学校</b></p> <p>小美玉の豊かな自然に支えられ、 成長を地域とともに育んでいける施設とします。 また、安心して生活することができるよう、 安全に配慮した施設とします。</p> <p><b>= 2 =</b></p> <p><b>小学校・中学校の9年間を見通した教育ができる学校</b></p> <p>児童生徒の9年の成長を感じられる学年教室や、 異学年間・教職員間の交流の場などを 整備するとともに、時代の変化に対応できる 柔軟性のある施設とします。</p> <p><b>= 3 =</b></p> <p><b>児童生徒が個性を伸ばし、目標に向かい努力できる学校</b></p> <p>個性を伸ばし仲間と共に生きる社会性を 学ぶとともに、将来の目標を見つけ準備のできる、 多様な学習環境を整えます。</p>
--

【建築計画】

<p>配置・平面計画</p> <p>① 配置計画</p> <p>小川北学区義務教育学校の屋外環境について、周辺と調和し、 安全な配置計画の要点を示します。</p> <p>■アプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩、自転車、自動車、スクールバスなど、それぞれの交通手段から校舎へのアクセスが安全かつ便利で使いやすい計画とします。 = 1 =</li> <li>・昇降口に面して児童生徒が交流できる広場を設けます。 = 2 =</li> </ul> <p>■施設配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南面のグラウンドを確保するなど教育環境に配慮し、既存校舎北側に新校舎を配置します。 = 1 =</li> <li>・校舎から体育館やグラウンドまでの安全な動線を確保します。 = 1 =</li> </ul> <p>■屋外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎まわりの身近な場所に、サブグラウンドを配置します。 = 1 =</li> <li>・サブグラウンドには低学年が安心して体を動かせる遊具スペースを配置します。 = 1 =</li> </ul> <p>■車両動線計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の道路状況や道路幅員から、北側県道にスクールバスおよび車両の主出入口を設けます。 = 1 =</li> <li>・スクールバスのロータリーを整備し、雨天時にスムーズに乗降が行えるようビッグルフなどを計画します。 = 1 =</li> <li>・県道茨城空港線側に学校行事や災害時など多様な用途に対応できるよう車両の出入口を設けます。 = 1 =</li> </ul>	<p>②平面計画</p> <p>将来の小美玉市を託す児童生徒を健やかに育む義務教育学校として、一人ひとりを大切にする教育環境を実現するため、児童生徒・教職員・地域の交流を育む平面計画の要点を示します。</p> <p>■施設全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の活用を図り、温かみがある建物とします。 = 1 =</li> <li>・新校舎の正面にはPTA・会議室を配置し、コミュニティスクールとして、児童生徒を地域の目で見守り、地域と連携しやすい学校とします。 = 1 =</li> </ul> <p>■学年スペース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通教室は全て南向きに配置することで自然採光・通風を確保します。 = 1 =</li> <li>・学年区分のまとまりをつくり、異学年の通過動線のない落ち着いた学習環境とします。 = 2 =</li> <li>・各学年区分のユニットにはグループ学習や少人数学習など弾力的な学習展開のできる、余裕のある多目的教室をつくります。 = 3 =</li> </ul> <p>■メディアセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昇降口に入り、目の前に広がる2層吹き抜けのメディアセンター（図書・PC室）を、異学年間の交流の中心として位置付けます。 = 2 =</li> <li>・新校舎と既存校舎の両方に向かう階段を設け、建物のどこからもアクセスしやすい計画とします。 = 2 =</li> <li>・図書室とコンピューター室との一体的な整備により、児童生徒が主体的に図書や電子メディアを活用し、調べ学習に対応できる環境とします。 = 2 =</li> </ul> <p>■多目的ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や異学年・教職員・地域など、様々な交流の場として活用可能な多目的ホールを整備します。 = 2 =</li> <li>・児童生徒の個性を伸ばすための学習や発表の場として活用します。 = 3 =</li> </ul> <p>■校務センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室から児童生徒の登下校が見守れる位置に配置するとともに、グラウンドへの視認性を確保できる位置に整備します。 = 1 =</li> <li>・校務センターには、教職員の使用する諸室を集中し、児童生徒の教育指導に関し、効率の良い教職員間の情報交流の場として整備します。 = 2 =</li> </ul> <p>■防災機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時には、避難所としての機能も担えるようビッグルフなどを計画します。 = 1 =</li> </ul>
---	---